

Types and Symptoms

STIの種類と症状

STIの種類によって症状はさまざま

STIにはどのような種類があるか見ていきましょう



性器クラミジア感染症

無自覚のうちに急速に感染拡大

「クラミジア・トラコマトリス」という微生物に感染して起きます。

女性の場合、進行すると子宮外妊娠、不妊、流産・早産の原因になるなど深刻な症状も出ます。オーラルセックスによって、咽頭炎や扁桃炎などの咽喉の病気を引き起こす例も増えてきています。

男性

- ・感染後1～2週間後に透明な液体が少量でたり、排尿痛や尿道のかゆみがあります。
- ・進行すると、前立腺や精巣に炎症を起こし、精子の通り道が閉ざされて無精子症になるケースもあります。

女性

- ・自覚症状はほとんどありません。
- ・悪化してゆくと子宮内膜炎や腹膜炎・肝周囲炎となり、卵管が詰まって不妊症になることがあります。
- ・妊婦の場合、産道感染した赤ちゃんが結膜炎や肺炎を起こすこともあります。

症状



淋菌感染症(淋病)

男性に特に目立った発症が…

淋菌の感染によっておこる昔から知られる病気です。薬剤耐性の強い淋菌が出現し、治りにくい淋病が問題となっています。オーラルセックスによりのどに感染することもあります。

男性

- ・感染後2～7日以内に尿道に飛び上るほどの激痛や黄色い膿が大量に出ることがあります。
- ・放っておくと、尿道炎から精巣や前立腺にも炎症を起こすこともあります。

女性

- ・子宮頸管炎、尿道炎を起こすが、症状が軽く気付かないことも多いです。
- ・気が付かないで放置していると、卵管炎等になって不妊症を起こすことがあります。

症状



性器ヘルペス

再発性の高い、しつこいSTI

単純ヘルペスウイルスに感染して起こります。一旦症状が消えても潜伏し、免疫機能が低下したときに再発することがあります。ディープキスやオーラルセックス、皮膚や粘膜の接触によっても感染します。

- ・一般的に潜伏期間は2～7日と短いのが特徴で、外性器に数mm～米粒大の水疱ができて痛みや発熱を伴います。
- ・2～4週間でいったん自然治癒しますが、再発することがあります。
- ・腿の付け根内側(ソケイ部)のリンパ節の腫れ、強い痛みや歩行困難、排尿困難をきたすこともあります。

症状

HIV感染症 (AIDS)

免疫能力が著しく低下

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染すると免疫不全症候群(AIDS/エイズ)を発症します。性的接触による感染が増加しています。

症状

- ・感染直後はカゼのような症状を呈します。
- ・免疫能力が低下し、普通なら何でもない細菌・カビ・原虫に感染しやすくなり(日和見感染症)、悪性腫瘍もできやすくなります。
- ・発熱、下痢、倦怠感、体重減少など様々な症状が出て、カリニ肺炎、気道・食道カンジダ症、クリプトコックス症、エイズ脳炎、カポジ肉腫等合併症を併発します。

せんけい 尖圭コンジローマ

痛みのない腫瘍を形成

ヒトパピローマウイルス(6型、11型)の感染により、主に性器周辺に痛みのない腫瘍ができます。

症状

- ・潜伏期間は1〜3ヶ月で、いんげいきとう陰茎^{いんしん}頭頭(ペニスのこと)、がいしやう包皮、大小陰唇、子宮頸部、肛門周辺、尿道口等に小さなものができます。
- ・イボは集まってカリフラワー状になり悪臭を発することもあります。

HPV感染症

6〜10年かけて子宮頸癌に

ヒトパピローマウイルス(HPV)は子宮頸がんの原因としても知られています。HPVに感染しても多くは排除されますが、感染が持続すると子宮頸がんのリスクが高まります。特にリスクの高い型は16型と18型ですが、定期的な検診を受けることで予防できます。

症状

- ・HPVに感染しても、多くの場合は免疫機構により排除されますが、一部は持続感染して細胞の異形成を引き起こします。

梅毒

かつて大流行したが、今も侮れない

トレポネーマ・パリダという細菌が体内に侵入して起こる全身の感染症です。性病として猛威を振るった時代がありましたが、現在は下火となっています。

症状

- ・潜伏期間は3〜4週間で、1期では男女ともに性器や足の付け根に盛り上がった赤いしこりができます。
- ・2期(感染後約3ヶ月)で全身にバラ疹と呼ばれる赤い斑点が出て、発熱や頭痛など様々な症状が現れます。

腔トリコモナス症

主におりものに症状が出る

トリコモナス原虫という寄生虫に感染して起こります。女性に泡状のおりものや外陰部のかゆみが現れます。男性はほとんど無症状。

症状

- ・膣炎により、黄色〜黄緑色の悪臭を伴ったおりものがあります。症状が進むと、かゆみとただれが発生します。
- ・腔内がアルカリ性になり、他のSTI感染を助長します。
- ・男性はほとんど無症状で、パートナーにうつしやすい特徴があります。

ケジラミ症

体中のあらゆる“毛”に寄生

ヒトの体毛に寄生するシラミの一種。性行為中の直接接​​触により感染しますが、毛布やタオル等による間接的な感染もあります。

症状

- ・吸血によるかゆみがあります。
- ・陰毛のほか脇の毛やひげ、眉毛、まつげなどにも寄生することがあります。
- ・感染後1ヶ月前後でかゆみが出ます。